

# PGSホ・ムさんの情報

## 新聞掲載情報

PGSホ・ムさんは、新聞で頻度か取り上げられているようです。

どのような記事で掲載されているのか、チェックしてみてください！

2017.09 金ノ粒子を効果的に配置した  
色素増感電池用ナノポラス酸化チタン電極の開発



2017年9月7日

株式会社PGSホーム

報道関係各位

金ナノ粒子を効率的に配置した色素増感太陽電池用  
ナノポーラス酸化チタン電極の開発  
(株) PGSホーム

株式会社PGSホーム(本社:大阪市東成区、代表取締役:池口 護)は、奈良先端科学技術大学院大学の石河泰明准教授と共同で、酸化チタン層と金ナノ粒子層を積層に形成することによって金ナノ粒子を効率的に配置した色素増感太陽電池用のナノポーラス酸化チタン電極の開発に成功した。

色素増感太陽電池は、製造プロセスがシンプルで生産コストが低く、環境に優しい次世代の太陽電池として活発な研究開発が行われている。しかし、エネルギー変換効率が十分高くななく、その解決策の一つとして、負極のナノポーラス酸化チタン層中に金や銀のナノ粒子を均一分散させて、表面プラズモン共鳴や光散乱により増感色素の光吸収を高める方法が提案されている。

当社と奈良先端科学技術大学院大学の石河泰明准教授は、色素増感太陽電池の変換効率と酸化チタン中における金ナノ粒子の位置との関係に着目し、増感色素の最大吸収波長の光が到達するまでの酸化チタン層内に金ナノ粒子を分布させ、到達深さ付近における金ナノ粒子の濃度を高くすることによって色素増感太陽電池の変換効率を効率的に向上できることを見出した。

最大吸収波長光の到達深さ付近において高濃度の金ナノ粒子の凝集が観察され、光を散乱したと考えられる。

酸化チタンに金ナノ粒子が含まれない時と比較して、大きさ約40nmの金ナノ粒子を使用した場合、変換効率が約11%向上した。金ナノ粒子の大きさを変えることで、あるいは、酸化チタン層中の位置に応じて金ナノ粒子の大きさを変化させることで、変換効率を更に向上できることが期待され、今後、本技術を用いて色素増感太陽電池の更なる高性能化に繋げたい。

本研究成果は、シュプリンガーのオープン・アクセス国際誌「ナノスケール リサーチ レターズ」に掲載された。

【リリースについてのお問合せ先】

株式会社PGSホーム 担当:中根・真弓 TEL:06-6981-3914 FAX:06-6981-3934

2017.01 紫外光発電の専門メディア PVeye 2017年1月号に掲載

[インサイドニュース]



同社オリジナルパネルの設置風景



同社が施工した住宅

住宅塗装を手掛ける  
PGSホーム（大阪市  
東成区、池口護社長）  
がこのほど、自社オリジナルの住宅用太陽光発電システムの販売を強化している。新電力の坊っちゃん電力と提

採用した。  
内部監査室の村上典  
洋室長は、「同じ製品  
でもパネルの出力によ  
つて変換効率が変わら  
製品もあるが、当社の  
製品は性能が一定で、  
様々な屋根形状に対応

## PGSホーム、住宅向けに オリジナル太陽光システム 本格拡販へ

携し、同システムを設置したユーザーに対し  
て坊っちゃん電力がF  
IT価格より円高  
買取るスキームを組ん  
だ。住宅市場で他社との  
差別化を図る狙いだ。  
同社は16年夏より自  
社ブランドの太陽光パ  
ネル、「ベガサスソ  
ーラー」を使った住宅用  
太陽光システムを売り  
出した。パネルは単結  
晶型で出力277Wと  
220Wの2種類、変  
換効率はともに20%だ。  
PGSはオムロン製を

現時点で30件ほどだが、  
「実績を積み、知名度  
を上げながら販売数を  
伸ばしていくたい」と  
村上氏は展望を語る。  
同社の16年9月期の  
太陽光関連の売上高は  
前年比8%増の42億円  
だった。既築住宅向け  
太陽光発電設備の受注  
件数は約220件と前  
年並みだったが、平均  
設置容量が増え、微増  
で推移した。16年夏に  
発売した自社システム  
の販売を強化し、今期  
は2億円を目指す。  
（内）

トは、坊っちゃん電力によるプラス5円買取りに加え、PGSホームが直売するため、価格調整の幅が広く、競争力を發揮できる点だ。  
村上氏は、「今後、買取り単価は下がっていくだろうが、自社システムであればプラス5円での買取りという価値を提供できるので、まさにまた住宅用で事業を継続できる」という。

# PGSホームさんの情報



2015.01.22毎日新聞 暮らしつくに掲載

暮らしに関わる最新情報をマンスリーでお届けします

# 暮らしつく

PGSホーム 新たな電解質を開発

PGSホームが奈良県で開発した、寿命長い次世代型太陽電池を発表。この電池は、従来の有機電池よりも約10倍の耐候性を持ち、太陽光発電用として高い効率を実現する。また、この電池は、従来の有機電池よりも約10倍の耐候性を持ち、太陽光発電用として高い効率を実現する。

新毎日

1月22日(木)

2015年(平成27年)

発行所: 大阪市北区梅田3丁目4番5号  
〒530-0051 電話(06)646-1551

毎日新聞大阪本社

2015.01.03 創エネ時報に掲載

ペジ 4 / 6

(c) 2026 署名@管理人 <aaa@nurikabe.net> | 2026-02-21 10:33

URL: <https://nurikabe.net/content/27/106/ja/> | %E6%96%B0%E8%81%9E%E6%8E%BC%89%E6%83%85%E5%A0%B1.html

# PGSホームさんの情報

創省蓄エネルギー  
12.15

## 新着情報ファイル

◇ PGSホームなど、次世代太陽電池実用化へ  
PVシステム販売・施工会社のPGSホーム（大阪市）は4日、奈良先端科学技術大学院大学と共同で研究してきた色素増感太陽電池に使用される高耐久性吸解質の開発に成功したと発表した。微弱な光でも効率よく発電できる色素増感太陽電池は次世代太陽電池として有力視されている。このほど開発した技術が実用化されれば低コストで耐用年数の長い太陽電池となり、発電コストが大幅に削減できると期待される。研究成果はドイツ科学誌「サー＝エネルギー」電子版に掲載された。  
色素増感太陽電池は、従来の製造方法では電子を受け渡す役割を担う電解質の耐久性が低いため、またたく間に劣化するという弱点があった。PGSホームは3年後の実用化に向けて量産技術の開発に取り組む。

2014.11.27 毎日新聞暮らしに掲載

暮らしに沿わる最新情報をマスリードお届けします  
暮らし

光触媒コーティングのPGSホーム

施工付随費無料キャンペー

外壁きれいに保ち、耐久年数アップ

MAINICHI

新毎日

11月27日(水)

2009.10.26 産経新聞に広告掲載

# PGSホームさんの情報

The top section shows the front page of 'Sankei Shinbun' (Sankei Shimbun) from October 26, 2009. The headline reads 'スーパー・チタンプロテクト-V' (Super Titanium Protect-V). It features a woman holding a baby and a small inset image of a spray can. Text on the page includes 'TV情報番組にも取り上げられた話題商品' (Topic product mentioned in TV information programs), '可視光反応型' (Visible light reactive type), '可視光(螢光灯)で反応する光触媒塗料' (Anti-bacterial paint that reacts to visible light (fluorescent light)), 'スプレーイタイプも販売中' (Spray type also available), and '誰でも手軽に使えるスプレーイタイプも開発しました。【使用例】マスク(外側)の布、ドアノブ・電話機などに' (A spray type that anyone can use easily has been developed. [Usage example] Cloth for masks (outer side), door knobs, telephones, etc.). The bottom right of the page has the PGS logo and the text 'PGS ホーム' (PGS Home) and 'http://www.pgs-home.jp/'.

一意なソリューション ID: #1105

製作: ミスティックA

最終更新: 2017-09-19 18:31